

I テーマ

世界をひとつに
ICTで 世界に愛を届けよう

II やりたいこと

2020年、バスケットボールのオリンピック会場となるさいたまスーパーアリーナで表彰者を讃えたい。敵味方関係なく表彰者の国歌を母国語で大合唱したい。

母国を思いながら、異国の地の表彰台に立つ勝利者に対し
素晴らしい試合だったね、よかったね、おめでとう、という気持ちを届けたい。

III ICTを使えば実現できる

スマホやメガネ型ウェアラブル端末で
楽譜と表音文字の歌詞が並べば歌える

端末をもつ人が日本人であれば、カタカナで
アメリカ人であれば、英語、韓国人であれば韓国語の表音文字で
歌詞が並べば日本人も外国人も一緒に声をあわせられる

(スペインのように歌詞のない国歌であれば、楽譜だけ。楽譜は世界共通語)

会場を流れる音にあわせて、カラオケのように楽譜のどこを歌っているのか、歌詞のどこを歌えばよいのかがわかる画像を観客一人ひとりが見られるようにする

IV イメージ



V その先

世界大会（熊谷ラグビー、さいたまサッカー、自転車ツールドフランス等）で
実施する
人に幸福を与えるる神の霊魂-幸御魂（さきみたま）-埼玉 で
世界をひとつに